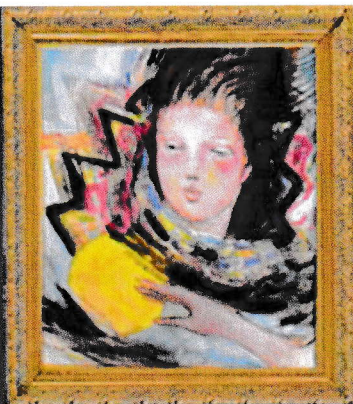




キャリア商事株式会社
レシピシステム株式会社
トランサム株式会社
キャリア総合研究所株式会社
<http://www.calio.co.jp>
<http://www.recipesystem.co.jp>
発行元 〒451-6039 名古屋市西区牛島町6-1
名古屋ルーセントタワー 39F
Tel 052-627-0480 Fax 052-627-0481

キャリア技研株式会社
ジュラテクノロジー株式会社
カイロス株式会社
きばりや株式会社
<http://www.juratech.jp/>

Top Stories



「第41回永井嘉吉記念賞」日刊工業新聞に特集掲載

2025年3月21日(金)、日刊工業新聞において、「新春経済講演会 第41回永井嘉吉記念賞」に関する記事が掲載されました。

表彰式ではキャリア技研代表 富田が登壇し、記念の盾と副賞を拝受しました。今後もこの受賞を励みに、より一層の技術革新と社会貢献に努めてまいります。



「2025年度 入社式・全社会」を開催

2025年3月29日(土)、名古屋東急ホテルにて2025年度入社式・全社会を執り行いました。本年度は12名の新たな仲間を迎えることができ、厳粛かつ温かい雰囲気の中で式典が進行いたしました。



2025年度新卒社員12名



激励の言葉を贈る代表富田

キャリア代表 富田より新入社員への激励の言葉が贈られたほか、経営陣からも力強いメッセージが伝えられました。



「岐阜オープンクラシック2025」にカイロス株式会社が協賛

2025年4月5日(土)、6日(日)、各務原カントリー倶楽部にて開催された「第42回岐阜オープンクラシック2025」において、カイロス株式会社 代表取締役社長 民田が表彰式のプレゼンターを務めました。ベストアマチュア賞(ミッドアマチュア/シニアアマチュア)受賞選手への表彰と記念品の贈呈をいたしました。

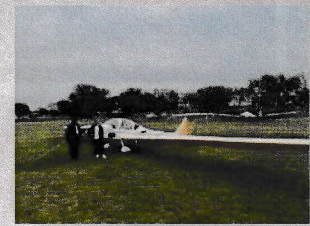


記念品の贈呈



「自家用操縦士 滑空機(上級滑空機・曳航装置なし動力滑空機 および曳航装置付き動力滑空機)」を取得

2025年4月11日(金)、トランサム株式会社 代表取締役社長 江上が国土交通省認定国家資格である、「自家用操縦士(上級滑空機)技能証明」を取得いたしました。また、同年5月23日(金)には「自家用操縦士 滑空機(曳航装置なし動力滑空機および曳航装置付き動力滑空機)技能証明」も取得し、陸上単発航空機, モーターグライダー, グライダーを使用することになりました。

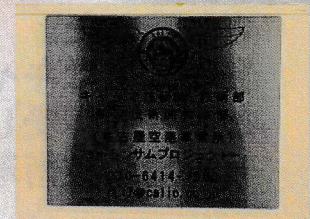


モーターグライダー(動力付き滑空機)



県営名古屋空港に研究開発拠点を開設

2025年7月1日(火)、キャリア技研株式会社が県営名古屋空港に研究開発拠点を開設いたしました。有人航空機での無線技術開発や無線技術の展開を目的としており、AAM(空飛ぶ自動車)社会に向け邁進してまいります。県営名古屋空港を御利用の際にはお立ち寄り下さい。(TEL : 070-6414-1900)



エントランスサイン



大樹町と「有人・無人航空機を使用した災害協定」を締結

2025年7月4日(金)、キャリア技研株式会社が北海道大樹町と「有人・無人航空機を使用した災害協定」を締結し、同年7月8日(火)発行の十勝毎日新聞に記事が掲載されました。弊社が開発した災害用航空機の活躍の幅を広げてまいります。



締結式



編集後記

info@calio.jp



2008年「第1回名古屋市エコ事業所」優秀賞受賞

本誌は、お世話になっているお客様向けに限定して発行しております。ご異動等で不達の場合はご転送いただけましたら幸いです。

-エコ事業活動に関する情報-

弊社では名古屋市認定エコ事業所として、部屋の電気すべてを点灯するのではなく、使用する場所以外は消灯し、環境意識を高めております。



代表取締役 富田茂



CALIO NOW 制作チーム

2025年(令和7年)7月8日(火曜日)(14)

災害対策に航空機活用

大樹町 キャリオ技研と協定

【大樹】大樹町は4日、キャリオ技研(名古屋市長、富田茂社長)と「災害協定」を締結した。町多目的航空公園(美成169)を発着する有人航空機・無人航空機を活用した災害対策事業などを行う。町では協定を通じて、災害の拡大防止や被害の早期復旧、災害の未然防止などにつなげたい考えだ。

(松岡秀宣)



署名した災害協定書を取り交わした(右から)黒川町長と富田社長

同社は、無人飛行ロボット、自動操縦などの技術開発会社。2018年に大樹、幕別、広尾各町と、22年に更別村と、ドローンによるシカなど有害鳥獣駆除や環境保全、防災、人材育成、教育などに関する連携協定を締結している。

今回の協定は、①航空機を活用した災害対策事業への協力②町の要請に基づく物資などの運搬作業への協力③航空機を活用した災害防止事業への協力④航空機を活用し、滑走路上で災害発生などに備えた飛行訓練、航空機の検証、無線技

術の実証実験などの活動実施など、地域防災に特化した内容。

具体的には、海岸線の津波被害などの状況把握のほか、浜大樹と旭浜両沿岸地区に設置される津波避難タワー(26年完成予定)や孤立集落への物資輸送などが想定されるという。

町役場で開かれた締結式には、黒川豊町長と富田社長が協定書に署名。黒川町長は「災害時は、大樹町も孤立する集落があり心強い。地域の防災面向上において、力添えを頂ければ」、富田社長は「同公園を用いて、次世代の航空開発技術や人材育成など、災害発生時に向けた準備活動も行いたい」と述べた。

同公園はロケットの射場などでも利用される。同席した「北海道スペースポート(HOSPO)」を運営するスペースコタンの小田切義憲代表取締役社長兼執行役員CEO(最高経営責任者)は「災害時などは柔軟な対応になる」と述べた。



永井嘉吉記念賞

富田氏に授与

顕彰式

名古屋産業人クラブは2月3日、名鉄グランドホテルで「第41回永井嘉吉記念賞」顕彰式を開いた。受賞したキャリアオ技研（名古屋市中村区）の富田茂社長（写真右）に、森会長から記念の盾と副賞が授与された。

富田社長は「このよ

うな栄えある賞をいただける日を迎えることなど、1997年に創業した時に地球上の誰も想像できなかった」とあいさつした。さらに「良いことだけでなく苦しいこともたくさんあったが、ここに一歩近づくことができ言葉で言い表すことができない気持ちだ。社長として何が足りていないのか、これからも完璧を求めるのが経営だと思う」と決意を語った。

同賞は名古屋産業人クラブ2代目会長で、元新東工業会長の故永井嘉吉氏の遺産を基金にした顕彰制度。優れた経営手腕を発揮した中小企業の経営者を毎年1人顕彰している。